

補助事業番号 26-4-005
補助事業名 平成26年度被災地域および被災者受入地域における高齢者、児童、障害者等を対象とした生活支援活動補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、NPO、大学や幼稚園などの教育機関、市民団体、臨床心理士などの市民、行政等と社会的課題解決のためのプラットフォームを構築し、原発事故による放射能等のストレスを抱えている幼児、児童、障害児とその保護者を茨城に招待することにより彼らの身体的、精神的ケアを実施する。

この活動がプラットフォームに参加する個人の自己表現や団体の成長に資することになり、NPOをはじめとする市民活動が低迷している茨城県北地域の市民活動の活性化につながるようにする。

(2) 実施内容

<http://www12.plala.or.jp/NPOWY/jka/jka2014/jka2014.html>

①支援プログラム(こども元気プロジェクト2014)の実施

第1グループ

(支援者：常磐短期大学の学生と教員、常磐大学幼稚園園児と教員)

ア、対象者：いわき市志賀学園、いわき市平第一幼稚園、

イ、実施日：平成26年7月5日 平成26年11月8日 平成27年2月10日

ウ、場 所：常磐大学幼稚園 奥日立きららの里 常磐短期大学

エ、内 容：運動・造形遊び 外遊びとバーベキュー 音楽遊びとコンサート

オ、参加者：172名 73名 350名



段ボール迷路遊び



電車ごっこ遊び

第2グループ(支援者：YKストレスケアオフィス)

ア、対象者：軽度障害発達児（いわき市のこパタCLUB他）

イ、実施日：平成26年9月28日 平成26年11月2日 平成26年11月29日

ウ、場 所：国営ひたち海浜公園 筑波山 フォレスパ大子

エ、内 容：自転車乗り、パターゴルフ 登山 プール遊び

オ、参加者：25名 26名 26名



海浜公園 外遊び



つくば山 登山

第3グループ(支援者：NPO法人ひたち親子の広場、茨城基督教大学生と教員)

ア、対象者：いわき市の子供と保護者

イ、実施日：平成26年6月8日 平成27年2月21日

ウ、場 所：かみすわ山荘（日立市） 常磐大学

エ、内 容：宝探し・言葉合わせ遊び 段ボールハウス作り

オ、参加者：110名 77名



宝探し・言葉合わせ遊び



段ボールハウス作り

②シンポジウムの開催

ア、日時：平成27年2月7日 13時30分～16時30分

イ、場所：常磐大学

ウ、テーマ：「福島県いわき市の今～心理士の立場から～」

エ、内容：活動概要報告…安田尚道（ひたちNPOセンター・with you代表）

福島県いわき市の現状報告…YK ストレスケアオフィス代表 吉川悠希先生
(臨床理士・臨床動作士)

- ・いわき市の子どもたちの現状
- ・仮設住宅の現状
- ・家庭の崩壊による影響
- ・子どもへの放射能の影響、避難生活による健康被害
- ・運動制限による発達のいびつ化
- ・差別偏見の問題



シンポジウム

2 予想される事業実施効果

放射能等の不安による運動遊びや外遊びの不足から、精神的・身体的発達への制約や健全な親子関係の維持の難しさは継続的な支援を必要とし、支援プログラムにより震災前の日常性を取り戻すことができる契機となっている。

支援プログラムに対する子供たちや保護者からの期待が大きく、支援者の震災後の日常生活の励みとなっている。また、障害者にとっては、「動作法」によるリラクゼーションの実施による学校行事への適応となっている。

シンポジウムにおいては、いわき市内の現在の状況がよくわかり、継続性を持った息の長い支援活動が今後とも必要となることが再認識でき、活動の意義と課題が明らかになった。

3 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you

(トクテイヒエイリカツドウハウジン ヒタチエヌピーオーセンターウィズユー)

住 所： 〒317-0072

茨城県日立市弁天町2丁目12番地10号

代 表 者： 代表理事 安田 尚道 (ヤスタ ナオミチ)

担 当 部 署： 事務局

担 当 者 名： 大沢 絵理 (オオサワ エリ)

電 話 番 号： 0294-22-6292

F A X： 同上

E - m a i l： npowithyou5@yahoo.co.jp

U R L： <http://www12.plala.or.jp/NPOWY/>